

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社イズミ ゆめタウンはません

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物は、回収・処理業者と適切な契約を締結し、法に則った産廃のマニフェスト管理を行っている			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エネルギー使用量を把握し、省エネルギー法及び温対法に基づき、定期報告書にて適切に届出を行っている ・エネルギー使用量を把握し、熊本県事業活動温暖化対策計画書制度に基づき、定期計画書及び報告書を提出している ・中期経営計画の中で、CO2排出量削減目標を設定しており、主たる発生原因の電力の使用量削減として省エネタイプの機器の導入、ナイトカバーの設置など節電に努めている								7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・省エネルギー法及び温対法に基づき、定期報告書にて適切に届出を行っている ・熊本県事業活動温暖化対策計画書制度に基づき、定期計画書及び報告書を提出している			2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に悪影響を与えないよう各廃棄物は適法に処理を行っている						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・店舗より排出される廃油、魚のあら等の食品廃棄物は分別管理し、適切にリサイクル処理を行っている ・お中元やお歳暮の売場ではエコ包装への協力を呼びかけ、ごみの発生抑制を心がけている ・店頭では回収ボックスを設置し、牛乳パック・食品トレー、ペットボトル等を回収し、再資源化している											9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水や汚水の適切な処理を実施している			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境に配慮した商品、サービスの提供を行っている。(大容量商品の販売促進、衣料品お引き取りセール、各種認証商品の販売等)													9.4		12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・発注量の適正化、ロスの見える化等を実施し、従業員一人一人が意識することで食品ロスの削減に取り組んでいる ・AI発注機の導入により、発注精度の向上に努めている		1	2				6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●																11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・店内照明器具のLED化を実施している ・熱源設備、空調機器を省エネ型機器に計画的に入替実施している										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・2020年7月よりレジ袋の有料化を実施。有料レジ袋についても順次、バイオマス入りレジ袋に切り替えを実施している ・店頭で食品トレーの回収リサイクルを実施し、ごみの削減に努めている															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●														9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・中期経営計画の中で2030年度CO2排出量30%削減(2013年度比)を掲げている。その先の2050年実質ゼロを目指し、太陽光発電パネルの設置やエネルギー管理設備を順次導入する予定である										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

